

平成22年度 「オホーツクの流氷と自然を守る寄附金」の使途について

平成22年度 寄附金合計（平成23年1月31日現在）

9,583千円

寄附者 481件

皆様からいただいた寄附金は、一旦「オホーツクの流氷と自然を守る基金」に積み立て、皆様の指定した目的に合った形で下記の事業に使わせていただきましたのでお知らせいたします。

※「オホーツクの流氷と自然を守る寄附金」は、寄附をいただいた翌年度の事業に使わせていただきます。

（平成22年度にいただいた寄附金は、平成23年度の事業に使わせていただきました。）

平成23年度 オホーツクの流氷と自然を守る基金充当事業の内訳

1. アザラシの保護活動などオホーツク海の海洋環境に関する事業（延131名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
海洋観光推進経費 （とっかりセンター指定管理経費） 「オホーツクとっかりセンター」では、傷ついたアザラシや親からはぐれた幼獣の保護を行っており、この施設の指定管理経費に充当させていただきました。	14,829千円	3,040千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ワモンアザラシ、ゴマフアザラシの赤ちゃんを保護しました。 ・平成24年3月に、とっかりセンターでは14年ぶりとなるゴマフアザラシの赤ちゃんが誕生しました。応募総数215票の中からオホーツク海のようにたくましく育てほしいとの願いを込めて「海(かい)」と名づけられました。

2. 地球環境の変化などに対応する環境保全啓発活動に関する事業（延144名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
北方圏国際シンポジウム開催事業 紋別市が昭和61年より毎年開催している「北方圏国際シンポジウム」は、『オホーツク海と流氷』をテーマに国内外の研究者による氷海・海洋研究の発信や情報交換の場として定着しています。この開催経費に充当させていただきました。	5,705千円	1,290千円	H24. 2. 19～H24. 2. 24開催 178名参加（内海外から8名参加） <ul style="list-style-type: none"> ・特別講演 「声は人なり」元札幌テレビアナウンサー 喜瀬ひろし ・学術シンポジウム 特別講演：「アイヌの伝承に語られた津波」 都司嘉宣（東京大学） ・氷海の民シンポジウム - 気候変動と人々の暮らし ・ワークショップ：油汚染 事故を想定し、事前の準備だけは怠らないよう ・教育シンポジウム：高校生が考えるエネルギー問題

3. 森林の適正な育成管理に関する事業（延116名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
緑の循環森林認証推進事業 紋別市は、適正な管理が行われていることで認証される「森林認証制度」の普及を進めています。認証された市有林のPRや、民有林の森林認証取得活動事業に充当させていただきました。	5,723千円	2,103千円	<ul style="list-style-type: none"> ・紋別市全森林面積65,727haのうち56,377haが認証森林面積となりました。認証率86% ・一般森林所有者の森林認証取得を推進しました。 ・認証材を利用して住宅を建築しました。

平成22年度 「オホーツクの流水と自然を守る寄附金」の使途について

4. 湖沼、河川の適正な管理に関する事業（延76名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
公害対策事務経費 紋別市は、オホーツク海に注ぐ渚滑川や、海に隣接するコムケ湖といった水資源が豊富です。大切な水資源を守るための水質検査分析経費に充当させていただきました。	1,656千円	1,525千円	・市内6河川（7地点）、2湖沼（3地点）で水質検査を年2回～4回行いました。いずれも特に問題のある項目はありませんでした。

5. その他、市長が必要と認める事業（延52名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
休日夜間急病センター運営管理事業 紋別市が抱える喫緊の課題は、逼迫する地域医療体制の確保です。休日夜間急病センターの運営経費に充当させていただきました。	166,233千円	1,625千円	・看護師の数を増やすなど、より充実した医療活動ができるよう体制を整えました。その結果、ほぼ毎日診療を行っています。

お一人で複数の使いみち指定がありますので、寄附者数と各事業への寄附者は一致しません。

なお、前年度からの繰越や、予算化の時期の関係から、平成23年度の寄附金総額とは一致しません。